

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～第39報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
生物圏担当

平成20年12月22日

## 1. 最も数が多かった種類(優占種)

植物プランクトン第1優占種



*Uroglena americana*  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



*Polyarthra vulgaris*  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。  
前部に2本の触角がある。

### コメント

植物プランクトンは先週に引き続き、黄色鞭毛藻に属するウログレナが優占種となり、次いで珪藻に属するアステリオネラが優占種となった。本種はホシガタケイソウと呼ばれ星状の群体を形成するが、時にはジグザグの群体を形成する時もある。動物プランクトンも、先週に引き続きハネウデワムシが140個体/L計数され優占種となった。本種は全国の湖沼で極めて普通に観察されるワムシの一種である。ピコ植物プランクトンは8,800細胞/mlで、全て黄橙色であった。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/L)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	140

第 2 優 占 種		個体数 (個体/L)
輪虫類	<i>Synchaeta stylata</i>	60

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
生物圏担当

## (2) 植物プランクトン

平成20年12月22日

第39報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)		
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	1200	◎	
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	20		
(珪) <i>Melosira varians</i>	30		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	50		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	120		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	40		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	240		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	780	○	
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	100		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	20		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	320		
(緑) <i>Hormidium</i> sp.	40		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	80		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	10		○
(緑) <i>Staurastrum arctiscon</i>	10		◎
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1220	38.2	15.7
(珪) 珪藻綱	1390	43.6	25.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	100	3.1	2.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	480	15.0	56.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	3190	総体積	2.32E+06
種 類 数	19	(μm <sup>3</sup> )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン  
1,000倍G励起で撮影

## (3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	12月22日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	8,800

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2 μm(1 μmは1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。